

計画目標の達成状況

目標 1（地域に適した公共交通網の形成）に対する評価指標

①公共交通に対する満足度の向上	策定時 75%	目標 85%	減少	結果 67.5% (▲7.5%)
-----------------	---------	--------	----	------------------

○計画策定後の満足度の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
合計	75.0%	43.5%	65.8%	65.8%	65.2%	66.0%	67.5%
鉄道	—	70.5%	82.5%	81.6%	82.2%	86.5%	85.2%
路線バス	—	33.8%	56.3%	56.4%	55.7%	52.0%	55.3%
タクシー	—	26.2%	58.7%	59.4%	57.8%	59.6%	62.1%

平成 26 年度・27 年度の調査は、それぞれ”回答項目と標本数”、”選択肢の数”が現在の回答項目と異なるため、令和 2 年度の結果と単純に比較できません。回答項目が同じ平成 28 年度と令和 2 年度の結果を比較すると 1.7%の増加となり、目標 1 については、目指す公共交通網の形成は達成されず、現状が概ね維持されたものと考えられます。また、目標の達成のためには鉄道以外の満足度の向上が必要となります。

目標 2（鉄道や路線バスが利用しづらい地域などのサービス改善）に対する評価指標

②乗合交通利用圏域の面積カバー率	策定時 71.2%	目標 増加	減少	結果 減少 (▲0.7%)
------------------	-----------	-------	----	---------------

○計画策定後の面積カバー率の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
面積カバー率	71.2%	74.0%	74.0%	74.9%	71.0%	70.5%	70.5%

※路線新設 ※路線新設 ※路線休止 ※路線廃止

計画策定後、路線バスの新規開設、廃止がされており、結果として微減となっています。
また、新たな公共交通は導入検討中であり、交通利用圏域が拡大されていないことから、目標 2 については改善途上であるといえます。

目標 3（公共交通を持続可能なものとするための仕組みづくり）に対する評価指標

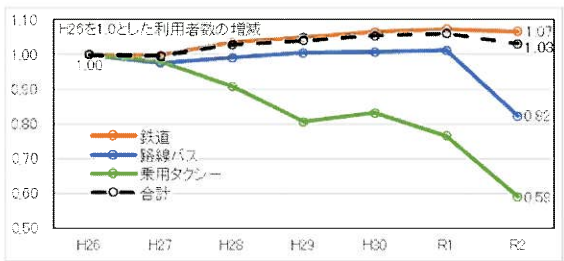
③公共交通の利用者数	策定時 297,558 人	目標 増加	増加	結果 306,961 人 (+6%)
------------	---------------	-------	----	--------------------

○計画策定後の公共交通の利用者数の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
合計	297,558	296,432	306,209	309,294	313,751	315,682	306,961
対前年度	8,107	-1,126	9,777	3,085	4,457	1,931	-8,721

越谷市統計年報、埼玉県乗用自動車協会及び埼玉県個人タクシー協会提供資料より 人/日

平成 26 年度と令和 2 年度の利用者数と比較すると、公共交通の利用者数は計画策定時から約 3%増加しています。これは鉄道利用者数が増加した影響が大きく、路線バスは 18%の減少、乗用タクシーは 41%減少しています。
令和2年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大による外出抑制等の影響により、前年より利用者数が減少しております。（ただし、鉄道の利用者数は当該年度の前年度の利用者数が、統計年報に掲載されています。）
目標 3 においては、実施事業である「市民との連携による新たな公共交通の仕組みの(ガイドライン)」は、形成できていない状況であり、実現に向け継続する必要があります。



取組みの実施状況

事業メニュー	事業項目	これまでの取組み内容	評価	今後
事業1 公共交通体系の形成事業				
バス路線の維持・充実	事業 1-1 バス路線の維持・充実	・系統数の推移(H27 年:82系統 H28 年:84 系統 H29 年:84 H30 年:83 R1 年:82 R2 年:81) ・市民の要望の共有を協議会で実施	○	発展
	事業 1-2 ノンステップバスの導入促進	・計画策定以降 14 台導入(H28 年:6 台、H29 年:3 台、H30 年:3 台、R1 年:2 台) ・ノンステップ化率(H27 年:79.2% R2 年:90.1%)	○	継続
	事業 1-3 バス停利用環境の改善	・計画策定以降 14 箇所について整備 →バス停付近の歩車道境界ブロックの撤去 →歩道環境が整備された箇所へのバス停移設 ・バス待ちスポット・まち愛スポットの登録数:26 箇所	△	継続
	事業 1-4 サイクルアンドバスライド拠点の整備	・令和 2 年度時点で 9 箇所整備 (既存の施設駐輪場と連携した案内を実施)	△	継続
駅や交通結節機能の強化	事業 1-5 交通結節点機能の強化 (ダイヤ接続や案内等)	・具体的な取り組み成果がなかった	×	継続
	事業 1-6 駅のバリアフリー化の促進 (内方線付き点状ブロックの設置等)	・内方線付き点状ブロック整備駅数:7 駅 ・ホームドア設置駅数:2 駅(北越谷駅、新越谷駅) ・駅ホーム声かけサポート講習会の開催	○	継続
事業2 鉄道や路線バスを利用しづらい地域のサービス改善事業				
バス路線の新設	事業 2-1 バス路線の新設	・土地区画整理事業と連携した路線(2 路線) ・バス事業者による市内路線の路線(6 路線)	○	継続
新たな地域公共交通の検討	事業 2-2 関係者との協働による新たな公共交通の導入に向けた取り組み(モデル地区)	・公共交通地区懇談会等を実施し、令和元年度に新方地区公共交通協議会を立ち上げた。協議会において新しい公共交通の導入に向けた協議を進め、実証運行の計画を検討中である。	△	継続
	事業 2-3 関係者との協働による新たな公共交通の導入に向けた取り組み(展開地区)	・5年間における実績が乏しい中、今後は、加速度をもって事業を促進していく必要がある。	×	継続
事業3 公共交通を持続可能なものとするための利用促進事業				
仕組みづくり	事業 3-1 市民との連携による新たな公共交通の仕組みの形成 (ガイドラインの作成)	・事業 2-2 による取り組みを進める中で、ガイドラインを作成する。	×	継続
利用促進活動	事業 3-2 案内マップ、利用促進ツールなどの作成	・公共交通マップの作成、配布(平成 28 年度以降、毎年度約 1 万部発行) ・AvenzaMaps アプリ上に公共交通ガイドマップを掲載し、ガイドマップ上での現在地案内を可能とした(令和元年度)	○	継続
	事業 3-3 モビリティ・マネジメント	・市職員の出張講座(公共交通関連講座)を実施(H28 年、H29 年)	△	発展

「評価」欄：事業の実施状況に対する評価 ○：計画内容が実施された △：十分な実施が不足 ×：未実施
「今後」欄：継続：内容を変えず継続実施 発展：新たな取組も含め継続実施